

## 2024・小学校低学年「おちびさんじゃないよ」

この本をえらんだりゆうは、だからです。

この本を読むまで「おちびさん」と呼ばれることについて（見た目について言われることについて）

気持ちがわかります / 考えさせられました / 人をきずつけていたかもしれません

なぜなら、だからです。

主人公のテンちゃんは という子だと思います。もし私がテンちゃんなら、きっと

（みんなにおちびさんと言われたら） ではないかと思いました。

私は、（人に言われていやなきもちになったこと / 人に言って怒らせてしまったこと・悲しくなったこと）

ということがありました。

そのときは、（どんな行動をしたのか / どんなことを言ったのか / どんな気持ちになったのか）

だと思いました。

テンちゃん / マルクン が、いじめっこに されたとき、もし私なら、

言い返せない / こわくって～ / 泣いてしまうかも / 勇気を出して / テンちゃんと同じように だと思いました。

どうしてテンちゃんはいじめっこに言い返せたのか、私は

だと思いました。

この本をよむ前は、（見た目について言われることについて）

だと思いました。

でもこの本をよんで ということを知って

だと思いました。

見た目や、人とちがうことをからかったり、口にするのは

だと 考えました / 思いました / 反省しました / 知りました。

私たちは 一人一人ちがうので / 見た目がちがうことは～ / 人の見た目をからかうのは～ / ちがうからこそ～

だと思いました。

これからは（見た目についてからかったり、口にする人がいたら）

という気持ちになります / と思います / と考えます。

そして、これから テンちゃん / マルクン のような 勇気をもって / 負けない気持ちで / 人をほめられるように

になったらいいなと思いました。